

第五十六回句会 俳句

【高点句】

- ☆青葉風しんがりの子に大拍手 〈眞澄〉
☆新樹光履修屈を見せ合つて 〈莫院〉
☆朝の窓開けて描き足す若葉かな 〈一衣〉
☆苔伝ふ水の玉なす薄暑光 〈眞澄〉
☆亡き義母の小さき服選る若葉雨 〈莫院〉

【各自一句】

- ・雅子妃の笑顔輝く若葉かな 〈隆司〉
・先程の雨嘘のやう新樹光 〈眞澄〉
・若葉揺れ葉先に光る蜘蛛の糸 〈撫子〉
・薄暑光じょうろの先の蔓伸びて 〈安津子〉
・濃淡の若葉で満ちる車窓かな 〈青蛙〉
・万緑となる献木の社かな 〈一馬〉
・白雲を掃きたるごとく新樹かな 〈莫院〉
・若葉ざわめき鼓笛隊街道へ 〈郁代〉
・万緑や夕やけこやけ遠く聴く 〈千恵〉
・空蟬や雨沁み入りし重き傘 〈一衣〉
・樟若葉公園の子を見守りて 〈伸子〉
・山道に木漏れ日揺らす若楓 〈雄記〉
・住みなすこと少し上手に若葉風 〈明美〉
・巻きついて垂れて山藤濃紫 〈緑〉
・参道に薫風ありて深呼吸 〈童心〉

*以上、43句（3句ずつ14名と1句1名）より、選句は15名により4句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句（今回は第1位が同点で2句、第3位が同点で3句）

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載）